

令和6年11月28日  
文 京 区

## 独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行する サステナビリティボンドの購入について

文京区は、積立基金の運用を通じた社会貢献への取組として、このたび、独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、以下「JICA」）が発行する「ジェンダーボンド（サステナビリティボンド）」への投資を決定しました。

JICA は開発途上国の持続的な社会経済発展を支援する政府開発援助（ODA）の一元的な実施機関です。

JICA が発行する債券（JICA 債）によって調達された資金は、全額が JICA の実施する有償資金協力事業に充てられます。今回のジェンダーボンド（サステナビリティボンド）で調達された資金は、JICA が準拠する国際的なジェンダー事業分類（注）に合致する、①ジェンダー平等や女性のエンパワメントを目的とする事業、②ジェンダー平等や女性のエンパワメント推進に資するコンポーネントを組み込んでいる事業、に活用されます。

（注）経済開発協力機構（OECD）の開発援助委員会（DAC）の基準に準拠

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が、環境改善効果があること（グリーン性）及び、社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。JICA のサステナビリティボンドは、独立した第三者機関である Moody's より、国際資本市場協会（International Capital Market Association: ICMA）が定義するサステナビリティボンドの特性に従った債券である旨のセカンドパーティーオピニオンを付与されています。尚、石炭を燃料とする発電所施設の新設・改修等に関する事業への出融資は、JICA のサステナビリティボンドの資金用途から除外されています。

文京区は、引き続き、UN Women（国連女性機関）日本事務所との連携等を通じて社会的課題の解決に貢献する取組を進め、今後も持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしてまいります。